

コクシジウム症から子牛を守りましょう！

子牛の下痢はさまざまな原因があります。

なかでも「コクシジウム症」は、アイメリア（原虫）の経口感染により引き起こされる感染症で、下痢、血便をおこし、重症では死亡することもあります。慢性的な下痢やあまり症状が見られないこともあります。

また症状が治まっても、その後の子牛の成長に対して長期にわたり大きな悪影響を与えます。

➤ コクシジウムの特徴

- 口から体内に入り、腸管内で増殖して腸粘膜を傷つける
- 糞便とともに排泄され、環境中で長期間生存
- 消毒薬に強い抵抗性を持つため、衛生管理に注意が必要

⇒ **牛床等の消毒には、オルソ剤や石灰乳を用いましょう！**

➤ コクシジウムの薬にはいくつか種類があります

- サルファ剤（ジメトキシ、ダイメトンなど）、ST合剤（エクテシンなど）…治療薬
- トルトラズリル製剤（メイズリル、バイコックスなど）…予防薬
- ジクラズリル製剤（ベコクサンなど）…予防と治療薬

サルファ剤は細菌にも効果があるので、幅広く使用される一方、細菌に効きにくくなる「薬剤耐性」が問題になっています！

⇒ **トルトラズリル製剤を活用して、予防に取り組みましょう！**

実際にトルトラズリル製剤の投与時期を見直して、下痢の発症や治療回数が減少した農家さんもいます！

子牛の下痢等でお困りでしたら、家保へご相談ください

ご不明な点は中央家畜保健衛生所 保健衛生係までお問い合わせください

岐阜県中央家畜保健衛生所

〒501-1112 岐阜市柳戸1-1
TEL：058-201-0530
FAX：058-201-0531

